

中国労災病院 地域医療連携ニュース 第 161 号

令和 2 年 3 月

平素から中国労災病院患者サポートセンター（旧・地域医療連携室）が大変お世話になり、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染が拡大し終息の目途が付きせん。この様なときこそ先生方と当院とが力を合わせてこの地域の感染拡大防止に力を注ぎたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今回はお知らせが 4 点ございます。

1. 退職予定医師のお知らせ

※ 3 月 31 日付けで退職予定となっている医師は次のとおりです。

【病院長】		【放射線科】	
榎野 新	病院長	高畑 良子	医師
		宇都宮 小渚	医師
【消化器内科】		【麻酔科】	
北村 正輔	内視鏡科部長	桑原 佳恵	医長
中村 一樹	医師		
【循環器内科】		【臨床研修医】	
松本 武史	医長	甘崎 誠史	医師
佐倉 拓朗	医長	乙原 雅也	医師
		眞田 哲郎	医師
【小児科】		眞鍋 大樹	医師
波若 秀幸	副医長	安本 圭秀	医師
山根 沙綾	医師		
【外 科】			
平田 雄三	第 2 外科部長		
石川 聖	医師		
甲斐 あずさ	医師		
高畑 明寛	医師		
【整形外科】			
田島 稔章	医師		
河口 沙織	医師		
【産婦人科】			
高畑 敬之	副医長		
梅木 崇寛	医師		

2. 新型コロナウイルス感染症に対する資料のご案内（別添参照）

詳細につきましては、別添をご参照ください。

3. 中国労災病院ニュース レインボーのご案内

詳細につきましては、別添をご参照ください。

4. 病院長退任のご挨拶（別添参照）

病院長退任にあたり、一言ご挨拶をさせていただきます。
別添資料をご覧ください。

中国労災病院 地域医療連携室
電話 0823-74-0321
FAX 0823-74-6260

登録医療機関の先生方へ

いつも感染対策講習会にご参加頂きありがとうございます。

新型コロナウイルスのご診療では、いまだ不明な点が多く、ご不安の中に診療をされていることと存じます。

この度、日本プライマリ・ケア連合学会より新型コロナウイルス初期診療の手引きが（ver 1.0）発刊されました。

COVID-19の初期診療にあたっての対応方針がわかりやすく解説されております。

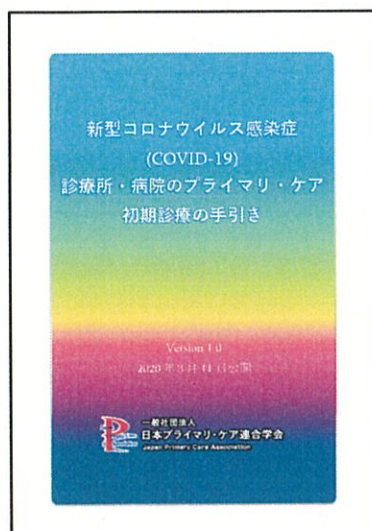
お時間のあるときに、ぜひ、ご一読頂ければと存じます。

日本プライマリ・ケア連合学会

<https://www.primary-care.or.jp>

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

診療所・病院のプライマリ・ケア 初期診療の手引き



2020/03/12

中国労災病院

感染対策室長 小西央郎

病院長 榎野 新

病院長退任のご挨拶



中国労災病院 病院長
榎野 新

いつも中国労災病院をご支援いただきましてありがとうございます。

さて私儀、令和2年3月31日付をもちまして独立行政法人労働者健康安全機構中国労災病院病院長を退任いたします。今まで多くの皆様にご指導、ご支援をいただき、大過なくその責務を果たすことが出来ましたことに改めて深く感謝申し上げます。

私がこの病院に赴任したのは昭和57年、矢村卓三先生が病院長に就任されたときです。それから38年間、盛生倫夫先生、土肥雪彦先生、梶山梧朗先生、碓井亜先生の歴代病院長にお仕えし、平成27年からの5年間は私自身が病院長として微力ながら地域医療の充実に努めて参りました。

急性期病院は地域の医療機関との連携が最も重要です。私は今まで職員に「二人主治医制」について繰り返し話してまいりました。これは地域の先生と当院の主治医が協力して一人の患者さん一生涯の健康を管理・フォローしていくという考え方です。これはこれから高齢社会を迎え、地域・在宅医療の中心になっていく考え方だと思っています。先生方からお預かりした急性期の患者さんを、急性期治療が済んだからといって、『はい、あとは宜しく。』と先生方に丸投げするわけにはいきません。二人主治医制のもとでは、急性期病院と地域の医療機関や在宅医療との間を取り持ち、退院後に地域で受ける医療の筋道をつけた上で退院していただく「退院支援」がこれまで以上に重要になってくるでしょう。この考え方を推進するため、一昨年当院では「地域医療連携室」を「患者サポートセンター」に改組しました。これからも中国労災病院との連携を、そして中国労災病院へのご支援を宜しくお願い申し上げます。

4月から当院は新しい病院長を迎えることとなりますが、私は名誉院長・顧問として少しでも地域医療にお役に立てれば良いと考えております。

長い間お世話になりありがとうございました。

令和2年3月17日